MASPRO

双方向CATV 屋外(内)用 ブースター

取扱説明書

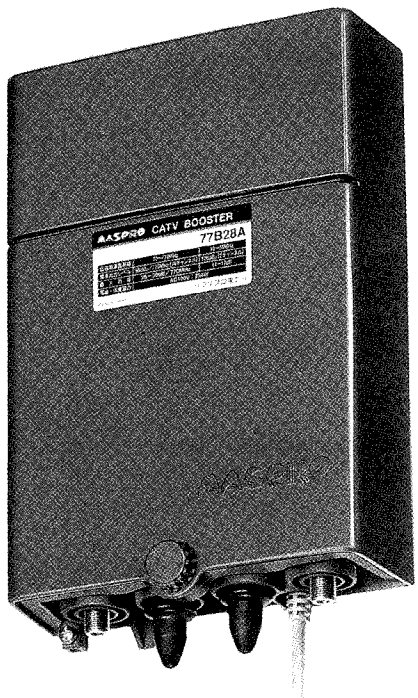
CATV BOOSTER

伝送周波数帯域　上り10～ 55MHz
下り70～770MHz

77B28A

AC100V方式

CATV加入者宅内の分配損失を補償するブースターです。



MASter of PROduction
生産の匠

大規模CATVに対応する性能と機能

低ひずみ

CATVブースター用高性能トランジスターを使用したマスプロ独自の増幅回路によって，74チャンネルのTV信号を低ひずみ率で増幅し，伝送することができます。

優れた不要放射抑圧特性

増幅部をシールドしていますから，不要放射は50 μV/m（34dB μ/m）以下になっています。
（有線テレビジョン放送法技術基準に準拠）

上り伝送周波数帯域 制限機能付

上り切換スイッチで，伝送周波数帯域を30～55MHzに制限できますから，流合雑音による伝送障害を防止できます。

優れた防水性

ケーブル引込口が二重防水構造ですから，雨水をシャットアウトします。

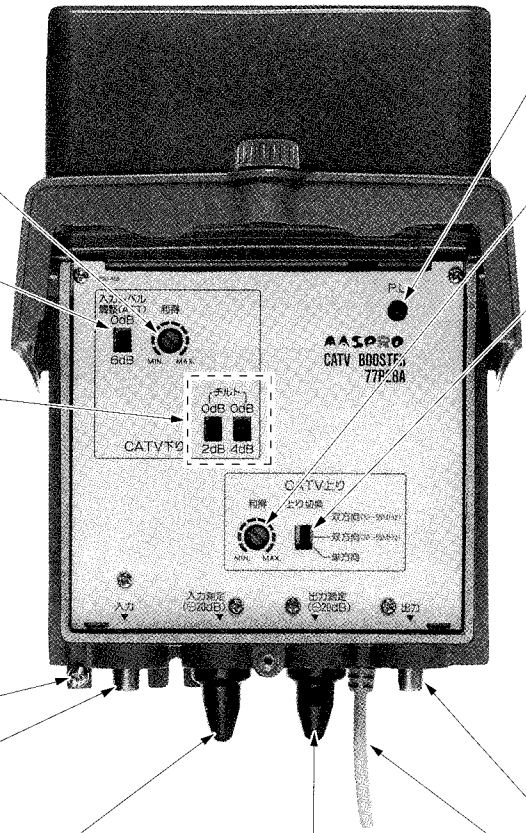
チルト調整付（CATV下り）

同軸ケーブルの周波数特性によって発生する，下り信号のレベル差を補正できます。

●ご使用の前に，この「取扱説明書」と「安全上のご注意」をよくお読みください。
●お読みになったあとは，保存してください。

親切・情報通信の
MASPRO
＝マスプロ電工＝

各部の名称と機能



CATV下り

利得調整

下り出力レベルが0～⊖6dBの範囲で連続して調整できます。

入力レベル調整ATT（6dB）

下り入力レベルが高い場合，使用します。

チルト（2，4dB）

2dBステップで，最大6dB／70MHzまで調整できます。
（770MHzの出力レベルは変わりません。）

パイロットランプ

CATV上り

利得調整

上り出力レベルが0～⊖7dBの範囲で連続して調整できます。

上り切換スイッチ

使用するシステムに合わせて，「双方向」または「単方向」に切換えてください。「双方向」の場合，上り信号の伝送帯域を切換えることができます。

- **双方向（10～55MHz）**
  上り信号を全帯域にわたって通過させるとき。
- **双方向（30～55MHz）**
  上り信号を全帯域にわたって通過させると，流合雑音が多くなるとき。
- **単方向**
  単方向システムに使用するとき。出荷時，双方向（10～55MHz）の位置にしてあります。

アース端子

入力端子

出力端子

電源コード（約1m）

コードを延長するために，途中で切断して別のコードをつなぐことは，電気設備技術基準で禁じられています。

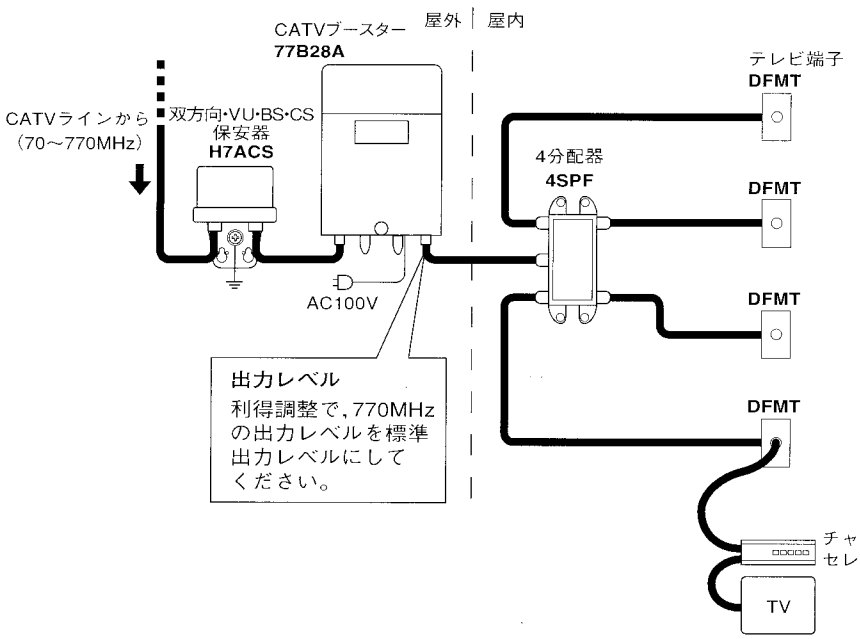
入力測定端子（⊖20dB）

- 下り入力測定端子および上り出力測定端子です。
- 測定後は，防水キャップを元通りに取付けてください。

出力測定端子（⊖20dB）

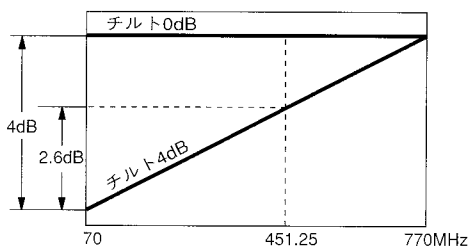
- 下り出力測定端子および上り入力測定端子です。
- 測定後は，防水キャップを元通りに取付けてください。

使用例　4分配ホーム共同受信の例



チルト切換について

- チルトの表示値は，770MHz を基準とした 70MHz でのチルト量です。
- チルト量を切換えても，770MHz の出力レベルは変わりません。



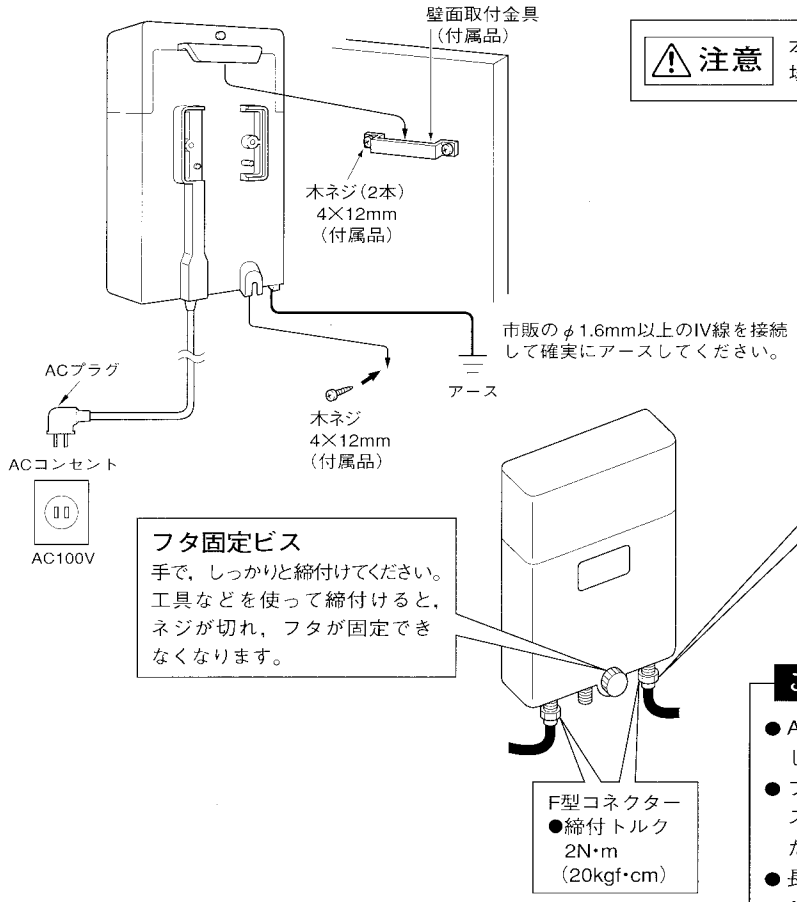
451.25MHzを基準としたチルト量

チルト表示	451.25MHz基準のチルト量
2dB	1.3dB
4dB	2.6dB

入力レベル調整（ATT）と利得調整について

出荷時，入力レベル調整（ATT）は6dB側に，利得調整はすべてMIN.の位置にしてあります。

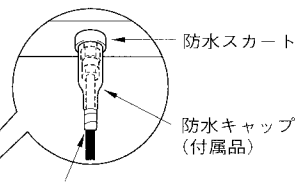
取付方法



⚠注意 本器は，電源コードに水がかからない場所で使用してください。

防水キャップの取付けについて

屋外に設置する場合，入・出力端子に必ず付属の防水キャップをかぶせてください。



防水キャップが防水スカート部から外れるのを防止するために，ビニルテープで止めてください。

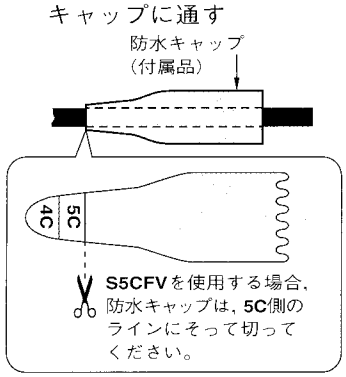
ご注意

- ACプラグは，共同受信の配線工事がすべて終了してから，ACコンセントに接続してください。
- ブースターは，内部温度上昇を防ぐため，グラスウールのような断熱材の上に置いたり，包んだりしないでください。
- 長期間ご使用にならないときは，ACプラグをACコンセントから外してください。

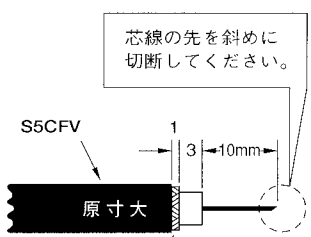
F型コネクター（FP5）の取付方法

- ●加工する前に，ケーブルを付属の防水キャップに通してください。
- ●接触不良やショートを防ぐため，プラグはていねいに取付けてください。

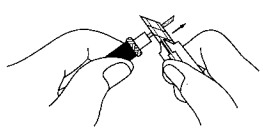
❶ケーブルを付属の防水キャップに通す



❷ケーブルの加工

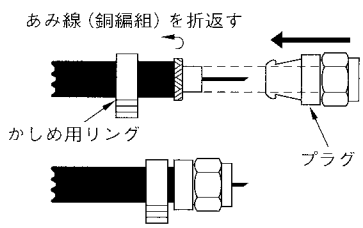


❸芯線には，白い膜が付いています。導通を良くするために，必ず取除いてください。

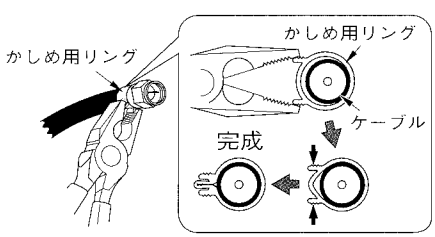


❹プラグの取付

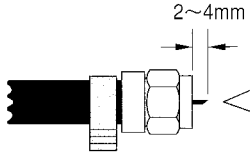
1. かしめ用リングを，ケーブルに通してください。
2. あみ線（銅編組）を折返してください。
3. プラグを強く押し込んでください。



❺かしめ用リングをペンチで圧着
プラグが抜けないようにプラグの根元で，しっかりと圧着してください。



完成図



芯線の長さは，必ず2～4mmにしてください。

F型コネクターのプラグから出る芯線が4mmを超えると，機器側のF型コネクターの端子部が破損して，故障の原因となることがあります。

芯線は，まっすぐにしてください。

芯線が曲がっていると，ショート状態になります。

規格表 Specifications

MASPRO

項目 Items		規格				
		CATV 下り			CATV 上り	
伝送周波数帯域 Frequency Range		70～770MHz			10～55MHz	
伝送チャンネル数 Number of Transmission Channels		74チャンネル	57チャンネル	32チャンネル	2チャンネル	1チャンネル
標準出力レベル Operating Output Level		95dBμ／770MHz 93dBμ／450MHz 89dBμ／ 70MHz	97dBμ／770MHz 95dBμ／450MHz 91dBμ／ 70MHz	99dBμ／770MHz 97dBμ／450MHz 93dBμ／ 70MHz	106dBμ	120dBμ
最大利得 Maximum Gain		26～30dB／770MHz			14～17dB	
入力レベル調整ATT Input Level Control Attenuator		6dB切換			———	
出力レベル調整範囲 Output Level Control Range	利得 Gain	0～⊖6dB以上（連続可変）			0～⊖7dB以上（連続可変）	
	チルト Tilt	最大6dB（2dBステップ）／70MHz ※			———	
周波数特性 Frequency Flatness		3dB以内				
利得安定度 Temperature Stability		±1dB以内				
雑音指数 Noise Figure		10dB以下				
入・出力インピーダンス Input/Output Impedance		75Ω（F型コネクター）				
VSWR		2以下				
2次相互変調 2nd Order Intermodulation		⊖60dB以下			⊖67dB以下	———
複合3次ひずみ（CTB） Composite Triple Beat		⊖60dB以下			———	
混変調 Cross Modulation		⊖60dB以下			⊖60dB以下	———
スプリアス Spurious		———				⊖60dB以下
ハム変調 Hum Modulation		⊖60dB以下				
不要放射 Radiation		34dBμ／m以下				
耐雷性 Surge Protection Voltage		15kV（1.2／50μs）のサージ電圧に耐えること				
測定端子結合量 Tap Value of Test Point		入力・出力 ⊖20dB（F型コネクター）				
使用温度範囲 Temperature Range		⊖20～⊕40℃				
電源 Power Requirements		AC100V 50・60Hz				
消費電力 Power Consumption		約4W				
外観寸法 Dimensions		230（H）×146（W）×65（D）mm				
質量（重量） Weight		約1kg				
シンボル Symbol						

※770MHzを基点とした70MHzでのチルト量です。

マスプロの規格表に絶対うそはありません。
ご理解と信頼あるデータにご期待ください。

付属品

壁面取付金具 ……1個
F型コネクター（FP5）‥2個
防水キャップ ……2個
木ネジ（4×12mm）‥‥3本

正しく使用していただくために

予定の出力レベル，あるいは，よい画質が得られないときは，次のチェックをしてください。

① 画質が悪い ——— 出力レベルが正しく調整してありますか。

② 測定端子に信号が出ない ——— 入力信号が来ていますか。
- ケーブルのチェック
- コネクターとケーブルとの接続をチェック

電源のチェック

以上の方法でもトラブルが解決できない場合，お近くの当社支店・営業所か，本社技術相談にお問合わせください。

製品向上のため 仕様・外観は変更することがあります。

情報通信・CATVの
＝マスプロ電工＝

本社〒470-0194（本社専用番号）愛知県日進市浅田町
営業部 TEL名古屋（052）802－2244
工事営業部 〃 （052）802－2225
技術相談 〃 （052）805－3366
インターネットホームページ www.maspro.co.jp

支店・営業所
沖縄 （098）854-2768
鹿児島 （099）226-9200
宮崎 （0985）25-3877
熊本 （096）381-7626
長崎 （095）846-6872
福岡（支）（092）531-3861
北九州 （093）941-4026
下関 （0832）55-1130
徳山 （0834）32-2954
広島 （082）230-2351
松江 （0852）21-5341
岡山 （086）252-5800
松山 （089）973-5656
高知 （088）882-0991
高松 （087）865-3666
姫路 （0792）34-6669
神戸 （078）843-3200
大阪（支）（06）6635-2222
工事営業部（06）6632-1144
京都 （075）341-0595
和歌山 （073）473-8867
津 （059）234-0261
岐阜 （058）275-0805
名古屋（支）（052）802-2233
工事営業部（052）804-6262
豊橋 （0532）33-1500
静岡 （054）283-2220
松本 （0263）57-4625
福井 （0776）23-8153
金沢 （076）249-5301
新潟 （025）287-3155
横浜 （045）784-1422
渋谷（支）（03）3409-5505
工事営業部（03）3499-5631
秋葉原 （03）3255-7335
青戸 （03）3695-1811
八王子 （0426）37-1699
千葉 （043）232-5335
大宮 （048）663-8000
前橋 （027）263-3767
水戸 （029）248-3870
宇都宮 （028）660-5008
郡山 （024）952-0095
仙台 （022）786-5060
盛岡 （019）641-1681
秋田 （018）862-7523
青森 （017）742-4227
函館 （0138）53-7355
札幌 （011）782-0711
釧路 （0154）23-8466
旭川 （0166）25-3111
北見 （0157）61-0480

OCT., 2000

MASter of PROduction
生産の調査

2K55-132
B-010-4132-2L